

公益社団法人 日本交通計画協会

2018年度 第4回理事会議事録

1. 開催日時 2019年6月17日(月) 14時00分より15時15分まで

2. 開催場所 公益社団法人 日本交通計画協会

3階 B・C会議室

所在地：東京都文京区本郷3丁目23番1号

3. 理事現在数 7名

監事現在数 2名

4. 出席理事数 6名

出席監事数 2名

(出席理事) 谷口守、中田康弘、岸井隆幸、飯塚義和、石川次男、  
石川雅康

(欠席理事) 川畑信之

(出席監事) 須原庸次、曾田祐司

5. 開会

定刻に至り、事務局より開会が宣言され、本日の理事会は定款第32条第1項による定数を満たしたので、有効に成立したことが報告された。

代表理事 谷口守は定款第31条により、本理事会の議長を務めることとなった。

6. 議事録署名人の選出

議事に先立ち、定款第34条第2項により議事録署名人は次の4名となった。

- ・代表理事 谷口守
- ・代表理事 中田康弘
- ・監事 須原庸次
- ・監事 曾田祐司

## 7. 議題

本日の議題は次のとおりであることを確認した。

### 承認事項

- |       |                            |
|-------|----------------------------|
| 第1号議案 | 2019年度事業計画書の承認の件           |
| 第2号議案 | 2019年度収支予算書の承認の件           |
| 第3号議案 | 規程改定に関する件                  |
| 第4号議案 | 総合交通体系整備研究積立資金の全体運用計画の承認の件 |
| 第5号議案 | 決議省略の方法の方式に関する件            |

### 報告事項

- |       |        |
|-------|--------|
| 報告第1号 | 職務執行報告 |
|-------|--------|

## 8. 議事の経過及び承認の結果

承認事項として以下の議案について、承認を諮った。

- |       |                  |
|-------|------------------|
| 第1号議案 | 2019年度事業計画書の承認の件 |
| 第2号議案 | 2019年度収支予算書の承認の件 |

議長は上記2議案につき一括して説明を求めた。業務執行理事石川雅康は、別掲議案書により、2019年度の事業実施方針と、それに基づく具体的な事業計画について説明をした。2019年度は、2018年度と同様に事業を展開する予定であることと、2019年度の自主研究として、重点的に取り組むテーマが6項目であることを説明した。自主研究のテーマは、①BRTシステムに関する研究、②次世代地域交通に関する研究、③都市内における歩行者空間に関する包括的研究、④公共主導によるMaaSの実現に向けた課題検討に関する研究、⑤海外展開に向けた新交通システム標準化検討に関する研究、⑥今後の自主研究実施に向けた準備調査とした。2018年度に実施している研究を継続して行い、①については、バリアレス縁石の普及に関し全国の都市で導入してもらえるよう促進を図っていく。また、バス交通の機能向上・高度化についても研究を進めていく。②については研究の最終年度であるので、成果公表に向けてどのように公表するかも検討することとなる。③については、どのような歩行者空間がふさわしいのか、整備する側、利用する側の立場の違いなど、今までと少し違った切り口で研

究を進めていく。④については、諸外国と日本のMaaSの相違点や現状から課題を抽出し一体的な公共交通としての研究を行っていく。⑤については、海外展開に向けた新交通システム標準化について基本仕様の必要性和内容の整理を行い、海外ニーズに合うように標準化仕様の見直を検討していく。⑥については、今後の自主研究のテーマなど情報収集を行っていきたい旨説明した。

続いて業務執行理事石川雅康は、別掲議案書により2019年度の収支予算について以下のように説明した。経常収益については、2018年度の受託予定案件を基に現在の受託件数を加え6億500万円余と予想している旨を説明した。また、経常費用については、2017年度の運営実績を勘案の上、6億100万円余と予想している旨説明した。その結果、最終的な当期一般正味財産増減額は11万円強の増となり、前年度予算と比較すると同程度となっている旨説明した。なお、2019年度は資金調達及び設備投資の見込みについては予定がないことを説明した。

両議案説明に対して、次の質疑応答があった。

(岸 井 理 事) 2020年度期にて、東京オリンピックがあり連立講習会などの通常の開催している時期と重なる期間があるが影響があるが検討しているか。

(石川業務執行理事) オリンピックの開催期間に重なるものは、日程調整を行う予定である。

(谷口代表理事) 外部の学会等もオリンピックの開催期間は避けている。

(石川理事) 自主研究の②の成果は、対外的に何か発表するのか。

(石川業務執行理事) パンフレットのような媒体で、公表することを検討中である。

(石川理事) セミナー等で発表する予定はあるか。

(石川業務執行理事) オリンピックに絡めた講演会や協会機関誌「都市と交通」で特集を組むなど考えられるが、具体的には検討中である。

(谷口代表理事) 収支予算書にて、委託費が増加しているが、要因は何か。

(石川業務執行理事) 事業収益の増加に伴って、外部に依頼する用件が増える為。

(飯塚理事) 収支予算書の2019年度の事業収益は現段階で把握されたものか。

(石川業務執行理事) 現時点の確度の高い案件を収集して予算化している。実際には予算を上回る可能性が高い。

議長は両議案につき個別にこれを議場に諮ったところ、全員異議なく承認可決し、2019年度事業計画書及び2019年度収支予算書を承認した。

### 第3号議案 規程改定に関する件

議長は上記議案につき説明を求めた。業務執行理事石川雅康は、別掲議案書により2018年度第3回理事会より継続審議となっている総合交通体系整備研究積立資金取扱規程について前回の議論も踏まえて説明した。

本議案説明に対して、次の質疑応答があった。

(飯塚理事) 毎期6月の理事会で承認した全体運用計画以外の運用は行わないのか。

(石川業務執行理事) 行わない。6月の理事会で運用方針を決め計画に沿って運用していく。全体計画を変更する場合は、再度の理事会承認が必要となる。

議長は本議案につきこれを議場に諮ったところ、全員異議なく承認可決し、規程改定に関する件を承認した。

### 第4号議案 総合交通体系整備研究積立資金の全体運用計画の承認の件

議長は上記議案につき説明を求めた。業務執行理事石川雅康は、別掲議案書により第3号議案で承認された総合交通体系整備研究積立資金取扱規程に則り資金運用するための総合交通体系整備研究積立資金の全体運用計画についての説明をした。資金運用に関する種類、メリット、リスク等を順に説明した。また、資金運用額に関しては分散投資を念頭に当面として積立資金4億7千万円のうち1億円～1億5千万円程度にて元本割れの危険性の少ないものにて運用を行いたい旨、説明を行った。

当面の運用先は、市場金利連動型及び外国為替相場連動型債券投資信託のうち、予定利率、早期償還条件、外貨償還条件を勘案し、リスクの低いも

れ  
のを選択する旨も説明を行った。

本議案説明に対して、次の質疑応答があった。

(谷口代表理事) 今回の理事会では、具体的な運用案件はないのか。

(石川業務執行理事) 現在、決算時における運用の評価方法などにつき精査中、来月以降には具体的案件を提示できる予定である。

議長は本議案につきこれを議場に諮ったところ、全員異議なく承認可決し、総合交通体系整備研究積立資金の全体運用計画を承認した。

### 第5号議案 決議省略の方法の方式に関する件

議長は上記議案につき説明を求めた。業務執行理事石川雅康は、別掲議案書により決議省略の方法の方式についての説明をした。

本議案説明に対して、次の質疑応答があった。

(石川理事) 理事のうち誰か一人が疑義を持ち否認した場合、同承認事項案件を改めて理事会を開催して審議することは可能か。

(石川業務執行理事) 可能である。

議長は本議案につきこれを議場に諮ったところ、全員異議なく承認可決し、決議省略の方法の方式を承認した。

報告事項として、以下について報告を行った。

### 報告第1号 職務執行報告

議長は上記につき報告をさせた。業務執行理事石川雅康は、別掲議案書により2018年度の間接報告として、刊行物発行事業、講習会・シンポジウム等開催事業、広報・研究成果発表事業、国際会議・催し物等開催協力、受託案件調査研究事業についての報告を行った。

### その他の事項

また事務局より、2019年9月初旬頃に2019年度第1回理事会を開催し、さらにその2週間後を目途に定時社員総会を開催したい旨を説明した。理事・監事全員で協議したところ、2019年度第1回理事会を、2019年8月28日(水)11時30分より開催することを、また、定時社員総会を9月13日(金)17時00分より開催することを決定した。

9. 閉会

以上をもって2018年度第4回理事会の議事を終了したので、議長谷口守は、15時15分閉会を宣し解散した。

上記の議事を明確にするため本議事録を作成し、出席した代表理事及び監事は下記に記名、押印する。

以上

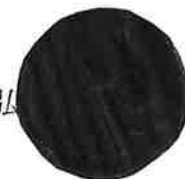
2019年6月17日

公益社団法人 日本交通計画協会 2018年度 第4回理事会

代表理事 谷 口 守



代表理事 中 田 康 弘



監 事 須 原 庸 次



監 事 曾 田 祐 司



本議事録の作成に関わる職務を行った者の氏名

業務執行理事 石川雅康

事務局参事 柴崎慶一朗

